

松川村まち・ひと・しごと創生総合戦略

アクションプラン

平成 29 年 3 月

長野県 松川村

目 次

基本目標 I	地域の賑わいと活力ある産業の創出	・ ・ ・ ・ 1
I-1	活力ある工業と個性ある商業の振興と誘致	
I-2	魅力ある観光の振興	
I-3	特色ある農業の振興	
基本目標 II	美しい田園景観とともに暮らす魅力ある村づくり	・ ・ ・ ・ 9
II-1	村の魅力向上による人口定着	
II-2	良好な住環境整備の促進	
II-3	ライフデザインの希望実現	
基本目標 III	子どもたちの笑顔があふれる子育ての村	・ ・ ・ 16
III-1	妊娠・出産・育児の切れ目のない支援	
III-2	子育て支援の推進	
III-3	教育環境の充実と支援強化	
基本目標 IV	安心で安全な地域の推進と広域連携の強化	・ ・ ・ 23
IV-1	心かよわせ、ともに暮らす協働の村づくり	
IV-2	健康長寿日本一への挑戦	
IV-3	安全で安心して暮らせる村の実現	
IV-4	広域連携強化による地方創生	

基本目標Ⅰ 地域の賑わいと活力ある産業の創出

具体的施策 Ⅰ－１ 活力ある工業と個性ある商業の振興と誘致

◆優良企業の誘致と雇用の場の確保

事業名	企業誘致事業					
事業概要	工業団地等への優良企業を誘致するために、都市圏を中心に企業訪問を行うなど、早期の企業立地を目指し雇用に繋げる。					
	実施事業・実施年度	H27	H28	H29	H30	H31
	上緑町工業団地において、長野県産業誘致パンフレットへの掲載	○	○	○		
	工場等誘致振興の助成及び優遇措置として、用地の取得価格に率を乗じて得た額を補助金として交付する	○	○	○	○	○

◆若手経営者の育成と新規起業支援

事業名	創業支援事業					
事業概要	池田町と合同で創業支援計画を策定し、各自治体は相談窓口の開設、創業支援事業者（商工会等）は創業塾を開催し、創業に必要な知識をアドバイスしフォローアップを図る。					
	実施事業・実施年度	H27	H28	H29	H30	H31
	創業支援事業者と連携し支援計画を策定	○	○	○		

◆既存企業への支援強化

事業名	経営支援事業					
事業概要	村商工会と一体となり経営相談業務の充実を図るとともに、金融機関との連携により経営の安定化を図る。 また、競争力のある産業づくりと質の高い経営を実行できる経営者や職場リーダーの育成を商工会が中心となって行い、企業の維持発展に努める。					
	実施事業・実施年度	H27	H28	H29	H30	H31
	村制度（利子補給）、県制度資金を活用した経営支援	○	○	○	○	○
	村制度、県制度借入保証料支援	○	○	○	○	○
	若手経営者、後継者育成セミナー	○	○	○	○	○

◆新たな商店の誘致と賑わいの創出

事業名	商店の活性化事業					
事業概要	商店と地域コミュニティが連携して、活力のあるイベントを開催し、賑わうまちづくりに支援する。					
	実施事業・実施年度	H27	H28	H29	H30	H31
	地域の良さを確認し、伝統行事などに地元企業が参加し、既存のイベント等を活用した新規イベントの企画			○	○	○
	商工会と連携しグルメマップの作成、商店マップの作成（商工会の事業として村としても協力する）			○		

◆商工団体の育成強化

事業名	経営力強化事業					
事業概要	商工会を中心とした研修会などを実施し商店及び人材づくりを支援する。					
	実施事業・実施年度	H27	H28	H29	H30	H31
	経営力の向上や新事業展開、事業承継等さまざまな課題に応じて、専門家の派遣を無料で受けられる制度を利用しながら、その具体的な解決をきめ細かに支援する	○	○	○	○	○

◆観光産業との連携による経営基盤の安定化

事業名	産業連携事業					
事業概要	村内の農業者、商業者、観光業者の連携を促進し、ビジネスマッチングの場を設け、地域の消費拡大につなげる。					
	実施事業・実施年度	H27	H28	H29	H30	H31
	農産物、商品（製品）、滞在型観光プランを地域内連携し、異業種の交流、商談会への参加			○	○	○

◆魅力あるイベントの開催による活性化

事業名	商店の活性化事業					
事業概要	商店などが行うイベントや伝統行事の開催について、商工会と連携し支援・協力する。					
	実施事業・実施年度	H27	H28	H29	H30	H31
	あめ市など地域に根差した伝統行事の開催には、商工会と連携し人的に協力していく。	○	○	○	○	○

重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H27)	目標値 (H31)
製造品出荷額 (年間)	716,356 万円	720,000 万円
企業誘致数 (累計)	—	1 社
新規起業数 (累計)	—	2 社
企業セミナー等参加者数 (年間)	120 名	120 名 (維持)
事業所数	396 事業所	396 事業所 (維持)

※基準値はH27で把握できる直近の数値

具体的施策 I-2 魅力ある観光の振興

◆魅力ある観光地の確立と広域的な観光エリアの形成

事業名	広域観光誘客事業					
事業概要	村の豊かな自然と田園景観を活かした、エコツーリズムを推進した観光地を形成する。大系線ゆう浪漫委員会や関係団体と連携し、広域ネットワークに取り組み、広域観光ルートを中心としたエリア形成を図る。					
	実施事業・実施年度	H27	H28	H29	H30	H31
	広域市町村が連携して、広域内に1泊以上かつ広域2市町村以上の有料観光施設を巡る旅行商品を企画・販売する旅行業者に対し、商品の広告宣伝費用または造成費用の一部を助成し、九州方面からの当圏域への誘客促進を強化する。	○	○	○	○	○

◆地域の観光を支える人づくり

事業名	ボランティアガイド育成事業					
事業概要	エコツアーガイド倶楽部の受け入れ態勢の強化と研修会・講習会を随時開催し、人材を育成していく。					
	実施事業・実施年度	H27	H28	H29	H30	H31
	ガイド倶楽部の人材育成として研修会実施	○		○		○
	ガイド倶楽部の会員増へ募集及びガイド育成		○	○	○	○

◆新たな特産品の開発と地域ブランド品の創出

事業名	ブランド化構築事業					
事業概要	時代のニーズにあった新しい特産品には、ブランド化や6次産業化などにより付加価値を高め、イメージアップにつなげブランド化を構築する。					
	実施事業・実施年度	H27	H28	H29	H30	H31
	村において生産された製品の付加価値を高め、物語をもった良好なイメージアップを図る 情報発信により認知度向上に取り組む			○	○	○

◆新たな観光プログラムの創出と滞在型観光の振興

事業名	滞在型観光事業					
事業概要	ちひろ公園を活用し、観光と農業を組み合わせた、滞在者が楽しめる体験プログラムを創出するため、体験型観光の企画をエージェントなどへ商談を行い商品化を目指す。					
	実施事業・実施年度	H27	H28	H29	H30	H31
	安曇野ちひろ公園を活用した観光施設を巡るモデルコースを企画し商品化を目指す			○	○	○

◆魅力あるイベントの開催と観光情報PRの強化

事業名	安曇野ちひろ公園PR事業					
事業概要	ちひろ公園オープンに伴う新イベントは、顧客が主役となるイベントに取り組む。ふるさと祭りなどは、後世へ継承し発展させていくため、村民と一体となり開催する。観光情報発信は、観光協会、道の駅、トットちゃん広場を利用し、公園の独立したHPを作成し最新の情報を届ける。SNSなどの情報発信ツールを活用し、松川村を発信していく。					
	実施事業・実施年度	H27	H28	H29	H30	H31
	安曇野ちひろ公園HP作成			○		
	SNSなどで情報発信ツールを活用		○	○	○	○
	観光パンフレット作成 インバウンド対応			○		

◆外国人を含む新たな観光客の開拓と受け入れ体制の整備

事業名	農家民泊及びインバウンド事業					
事業概要	農家民泊で訪れる修学旅行生や台湾を中心とした外国人旅行者が増え、新たな顧客層が生まれている。民泊では、インバウンドも視野に入れ誘客に取り組む。駅前、宿泊施設や道の駅などにサイン表示の整備を図る。					
	実施事業・実施年度	H27	H28	H29	H30	H31
	農家民泊についてインバウンドの受け入れをするため、県学習旅行協議会へ加入			○	○	○
	民泊パンフレット作成（台湾・韓国）			○		
	観光案内所サイン表示整備			○	○	

重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H27)	目標値 (H31)
観光交流イベント参加者数（年間）	16,760人	17,000人
ウォーキングイベント参加者数（年間）	643人	650人
外国人宿泊数（年間）	33人	50人
二次交通利用者数（年間）	3,156人	3,500人
観光ガイド登録者数	15人	18人
農家民泊利用者数（年間）	1,606人	1,800人

※基準値はH27で把握できる直近の数値

具体的施策 I-3 特色ある農業の振興

◆新規販路開拓による経営基盤の安定化

事業名	農産物販路開拓事業					
事業概要	長野県と連携して「北アルプス山麓ブランド認定品」のブランド化を図るため、東京ビックサイトなどで行うイベントを利用して新規販路を拡大する。					
	実施事業・実施年度	H27	H28	H29	H30	H31
	北アルプス山麓フェア及び首都圏キャンペーン事業	○	○	○	○	○
	営農支援センター事業で行うブランド品の発掘事業	○	○	○	○	○

事業名	安曇野地域（安曇野市・池田町・松川村）農産物／特産品輸出と外国人旅行者誘致事業					
事業概要	安曇野地域の3市町村で連携し、農産物の輸出による需要の拡大と輸出品目を足掛かりにした外国人観光客の誘客を図る。村ではりんご・米・日本酒・飲料水を対象品目としてアジア圏の都市に新たな輸出販路を開拓し、各産業の振興を図る。また輸出品目を「Made in Azumino Japan」の統一ブランドでアピールし、海外の消費者に対して「Azumino」を強く印象付けてインバウンドに結びつける。（地方創生推進交付金事業 H28～H32）					
	実施事業・実施年度	H27	H28	H29	H30	H31
販路開拓調査	りんご・米・日本酒・飲料水それぞれの商品評価と海外でのポテンシャルや輸出に際しての課題整理などを行うとともに、海外への販路促進プロモーションを実施する		○	○	○	○
産地限定日本酒の製造・販売支援	当該地域に限定した日本酒の製造を支援するとともに、オリジナル商品の開発やラベルの支援を行う			○	○	○
輸出飲料水のオリジナルラベル作成支援	輸出対象の飲料水に観光情報を掲載するなどインバウンドにつながる商品の開発を支援する			○		
観光ホームページ及びインバウンド向けパンフレット作成	ホームページと観光パンフレットを外国語対応できるように更新する			○		
輸出・インバウンド対応人材の確保	当該事業の特殊性から、専門の知識をもった人材を確保し、事業実施の円滑化を図る			○	○	○
外国語表記案内サイン整備	インバウンドに対応できるよう村内の案内サイン等を外国語表記に対応する				○	
海外エージェント招聘と商談会の開催	海外の旅行業者や輸入バイヤーなど現地に招聘し地域のPRをする			○	○	○
農産物品質向上プロジェクト	米及びりんごについて、調査結果や海外での評価を受けて、輸出に特化した品種の改良や品質向上への支援					○
安曇野ちひろ公園体験事業実施				○	○	○

◆都市との交流と新規就農者への支援

事業名	都市との交流事業					
事業概要	交流のある都市への松川村の農産物へ理解を深め、あわせて村農業の情報発信の場とする。					
	実施事業・実施年度	H27	H28	H29	H30	H31
	都市との交流事業（農産物の販売に合わせ、情報発信を行う）	○	○	○	○	○

◆地域農業を支える経営体の育成

事業名	地域農業支援事業					
事業概要	認定農業者、集落営農組合など地域を支える担い手の法人化を推進するため、長野県、農協など関係団体と連携して、相談会、研修会を開催する。					
	実施事業・実施年度	H27	H28	H29	H30	H31
	研修会・相談会の開催		○	○	○	○
	法人化補助金		○			

◆担い手の農地利用集積

事業名	農地流動化事業					
事業概要	担い手間の農地を調整し、分散している農地の集積を図り、効率的・効果的な農地経営を推進する。					
	実施事業・実施年度	H27	H28	H29	H30	H31
	農地流動化交付金事業	○	○	○	○	○

◆環境にやさしい農産物生産の推進

事業名	農産物の地産地消事業					
事業概要	村営農支援センターと連携し、学校給食センターと懇談会を開催し、生産作物の見直しをすることで利用率を向上させる。					
	実施事業・実施年度	H27	H28	H29	H30	H31
	給食センターとの懇談会の開催	○	○	○	○	○

◆農産・園芸・畜産の産地構築

事業名	農産物の認証事業					
事業概要	北アルプス山麓の豊かな自然と清らかな水・空気に育まれた環境の中で減農薬、減化学肥料等で生産される自然環境と共生した栽培による水稻の付加価値販売を目指し、農産物のPR活動を行う。					
	実施事業・実施年度	H27	H28	H29	H30	H31
	環境に配慮した農業の推進	○	○	○	○	○

◆遊休荒廃地の有効利用による新たな産業の創出

事業名	維持管理適正化事業					
事業概要	人・農地プランの担い手へ利用集積して遊休農地を解消する。また、水路改修等により耕作条件を整え、遊休農地の発生を防止する。					
	実施事業・実施年度	H27	H28	H29	H30	H31
	維持管理適正化事業	○	○	○	○	○

重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H27)	目標値 (H31)
農業生産法人数	5件	6件
担い手への農地集積率	36.6%	40.0%
特別栽培米作付面積	43ha	50ha
北アルプス山麓ブランド認定数	6品目	10品目
学校給食における地場農産物利用率	44%	50%
遊休農地面積	0.2ha	0.2ha (維持)
新規販路拡大件数 (累計)	—	2件

※基準値はH27で把握できる直近の数値

基本目標Ⅱ 美しい田園景観とともに暮らす魅力ある村づくり

具体的施策 Ⅱ-1 村の魅力向上による人口定着

◆若者を中心とした都市圏からの移住・定住の促進

事業名	移住・定住促進事業					
事業概要	村内空き家対策の一環として、空き家実態調査を実施し空き家物件のデータ化と情報整理を行い、利活用が可能な物件については県及び宅建協会と連携して空き家バンクへ登録し、移住希望者への情報提供を図る。 また、移住相談体制の充実を図るため移住パンフレットの作成や移住セミナーへの参加、松川村の魅力体験ツアーなどを実施し、移住者の増加を促進する。					
	実施事業・実施年度	H27	H28	H29	H30	H31
	空き家実態調査の実施による空き家物件情報の整理	○				
	空き家実態調査に基づく空き家物件を、県楽園信州開設の「空き家バンク」へ登録するとともに村HPへ掲載による情報提供の実施	○	○	○	○	○
	村移住案内パンフレットの作成と更新		○	○		○
	県楽園信州主催の移住セミナー等への参加による移住先PR及び移住パンフレットの配布による情報提供の実施		○	○	○	○
	田舎暮らしのお試し移住体験施設として村内の空き家をリノベーションし、移住希望者に体験利用していただくイベントを実施			○	○	○
	北アルプス連携自立圏による移住セミナー開催と移住相談窓口の開設・運営、魅力体験ツアーの共同開催		○	○	○	○
	移住・定住促進補助金の交付 村内で新築及び住宅を新規に購入する世帯に対して上限100万円の補助金を交付			○	○	○

◆将来の地域を担う人材の育成と確保

事業名	地域おこし協力隊員活用推進事業					
事業概要	地域社会の新たな担い手、必要とされる人材の確保を目的として、知識や意欲ある都市住民を「地域おこし協力隊員」として採用し、地域の課題解決と活性化を図ると共に、任期終了後も松川村に定住するよう支援を行う。また、国及び県、移住推進組織との連携を強化するとともに、移住・定住促進に資する各種制度の活用を図る。					
	実施事業・実施年度	H27	H28	H29	H30	H31
	地域おこし協力隊員の採用 平成27年度3人、平成28年度5人、平成31年度1人	○	○	○	○	○

◆将来を見据えた計画的な土地利用

事業名	土地利用調整基本計画の推進					
事業概要	松川村の最大の魅力である安曇野らしい田園風景と恵まれた自然環境を維持・保全するとともに、安心安全で快適な生活空間の創出を図るため、松川村むらづくり条例と土地利用調整基本計画に基づく秩序ある開発事業の推進を図る。 また、人口増加対策を踏まえた土地利用調整基本計画の見直しを検討する。					
	実施事業・実施年度	H27	H28	H29	H30	H31
	村づくり条例と土地利用調整基本計画に基づく秩序ある開発事業の推進	○	○	○	○	○
	土地利用調整基本計画の改訂					○
	住宅地最少区画の検討と開発指導要綱の改訂 (現行1区画300㎡以上 → 区画面積の緩和)	○	○			

◆良好な景観形成の推進

事業名	景観形成推進事業					
事業概要	松川村の最大の魅力である安曇野らしい田園風景と恵まれた自然環境を維持・保全するとともに、安心安全で快適な生活空間の創出を図るため、安曇野固有の景観である土蔵や茅葺屋根、屋敷林の維持・保全と生垣設置等に要する費用の一部を補助し、住民自らが行う景観形成の推進を支援する。					
	実施事業・実施年度	H27	H28	H29	H30	H31
	景観形成推進に関する補助金の交付	○	○	○	○	○
	松川村緑の基本計画の改訂（平成32年度まで現行） 村内の公園整備や緑化などの中長期の基本的な方針を示す計画					○

重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H27)	目標値 (H31)
移住相談件（者）数（累計）	—	200件
移住相談による移住世帯数（累計）	—	10世帯
空き家バンク閲覧者数（累計）	—	150人
移住セミナー参加者数（年間）	—	130人
地域おこし協力隊員数	3人	8人
空き家への入居者数（累計）	—	3世帯

※基準値はH27で把握できる直近の数値

具体的施策 II-2 良好な住環境整備の推進

◆良質で暮らしやすい住環境の整備

事業名	土地利用調整基本計画の推進					
事業概要	松川村の最大の魅力である安曇野らしい田園風景と恵まれた自然環境を維持・保全するとともに、安心安全で快適な生活空間の創出を図るため、松川村むらづくり条例と土地利用調整基本計画に基づく秩序ある開発事業の推進を図る。 新たな産業創出と生活基幹である商店等の誘導を図るため、土地利用調整基本計画の見直しを検討する。					
	実施事業・実施年度	H27	H28	H29	H30	H31
	むらづくり条例と土地利用調整基本計画に基づく秩序ある開発事業の推進 ※再掲	○	○	○	○	○
	土地利用調整基本計画の改訂 ※再掲 (平成32年度まで現行)					○
	松川村都市計画マスタープランの改訂 (平成32年度まで現行) 村の道路整備や市街地の形成など土地利用の基本方針と具体的な整備計画を中長期にわたって定める計画					○
	松川村緑の基本計画の改訂 (平成32年度まで現行) 村内の公園整備や緑化などの中長期の基本的な方針と具体的な整備計画を定める計画					○

事業名	村営住宅外壁修繕事業					
事業概要	村営住宅の外壁工事を行い、居住性向上・長寿命化を図る。					
	実施事業・実施年度	H27	H28	H29	H30	H31
	村営住宅外壁工事の実施による居住性向上・長寿命化	○	○	○	○	○

事業名	下水道整備事業					
事業概要	下水道未接続者に対する下水道接続の周知広報を行い、村民が暮らしやすい住環境整備を行う。					
	実施事業・実施年度	H27	H28	H29	H30	H31
	下水道未接続者に対する下水道接続の広報	○	○	○	○	○

事業名	松川村人口増加推進事業					
事業概要	人口減少対策として、土地利用調整基本計画を基本に利便性の高い場所を選定し、住宅地開発を行い、移住・定住の促進を図る。					
	実施事業・実施年度	H27	H28	H29	H30	H31
	東細野区（中学校南）、緑町区（信濃松川駅北）に計6区画（各3区画）宅地造成	○				
	東細野区（中学校西）に、13区画を宅地造成（H29年度以降についても宅地造成を順次実施）		○	○	○	○

◆暮らしの基盤となる生活道路の整備

事業名	道路等改良維持事業					
事業概要	歩道整備・橋梁修繕や点検を行い、安全で安心な道路環境を目指す					
	実施事業・実施年度	H27	H28	H29	H30	H31
	橋梁修繕・点検の実施による長寿命化	○	○	○	○	○
	村道舗装改修の実施による道路維持	○	○	○	○	○
	村道1-4号線歩道整備の実施による安全安心な道路環境	○	○	○	○	○
	除雪車リースによる道路維持		○	○	○	○

◆利便性の高い広域的道路網の整備

事業名	広域的道路網整備事業					
事業概要	地域との合意形成により地域高規格道路の建設を促進し、安全で快適な道路づくりを目指す。					
	実施事業・実施年度	H27	H28	H29	H30	H31
	地域高規格道路建設推進による地域との合意形成	○	○	○	○	○

重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H27)	目標値 (H31)
新規住宅地造成数（累計）	8 区画	60 区画
住宅新築軒数（年間）	29 軒	30 軒
歩道整備延長（累計）	—	国道 1.1 km 増 村道 1.4 km 拡幅
1人当たりの都市公園面積	21.77 m ²	23.45 m ²
下水道接続率	87.6%	92.0%
村営住宅入居率	100%	100%
交通事故発生数（年間）	182 件	減少

※基準値はH27で把握できる直近の数値

具体的施策 II-3 ライフデザインの希望実現

◆個性豊かで質の高い文化活動の推進

事業名	文化・芸術活動推進事業					
事業概要	すずの音ホールを拠点とした芸術・文化活動の支援と利用しやすい環境づくりを推進する。					
	実施事業・実施年度	H27	H28	H29	H30	H31
	誰からも愛されるすずの音ホールとして、コンサートや発表会、講演会等の実施	○	○	○	○	○
	社会教育団体の活動支援と情報提供	○	○	○	○	○

◆生涯スポーツ社会の実現

事業名	生涯スポーツ推進事業					
事業概要	生涯スポーツを通知、地域でのスポーツ活動の支援と生涯スポーツ環境の充実を図る。					
	実施事業・実施年度	H27	H28	H29	H30	H31
	社会教育団体の活動支援と情報提供の実施	○	○	○	○	○
	身体を動かす習慣をつけ、健康づくりを推進するためのスポーツ事業の実施	○	○	○	○	○
	誰でも気軽にできるスポーツ教室の提供や村民相互の親睦の場や体力向上事業の実施	○	○	○	○	○

◆豊富な学習機会の提供

事業名	子育て支援事業及び図書館活性化事業					
事業概要	子育て支援に関する事業の提供と子供向けから高齢者まで幅広い年代が利用しやすい図書館づくりを推進する。					
	実施事業・実施年度	H27	H28	H29	H30	H31
	子育て支援講演会やコンサートの実施	○	○	○	○	○
	青少年健全育成事業の実施	○	○	○	○	○
	高齢者に配慮した、「大活字本」の購入を促進する			○	○	○
	郷土資料のデジタル化を図る（松川村詩・広報まつかわ・小中学校周年記念詩等）				○	○

事業名	生涯学習推進事業					
事業概要	村民ニーズを捉えた公民館・社会教育課事業の提供と団体の自主的な学びの場の提供と支援を行う。					
	実施事業・実施年度	H27	H28	H29	H30	H31
	社会教育団体の活動支援と情報提供の実施	○	○	○	○	○
	公民館やすずの音ホールで開催する生涯学習事業の提供及びチラシ（公民館報含む）の配布	○	○	○	○	○
	青少年健全育成事業の実施	○	○	○	○	○

重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H27)	目標値 (H31)
すずの音ホール利用者数（年間）	40,600人	47,800人
子どもの図書館利用者数（年間）	6,077人	6,500人
青少年子育て支援事業開催回数（年間）	4回	6回
青少年社会教育団体登録数	28団体	30団体
安曇野ちひろ公園 センターハウス利用者数（年間）	—	1,000人

※基準値はH27で把握できる直近の数値

基本目標Ⅲ 子どもたちの笑顔があふれる子育ての村

具体的施策 Ⅲ-1 妊娠・出産・育児切れ目のない支援

◆子どもを産み育てる支援体制の充実

事業名	母子保健事業					
事業概要	出産前から親子の絆作りを目的とした教室や相談事業、育児支援の必要な母子を対象とした発達支援の実施。(各種検診：4ヶ月児検診・1.6歳児検診・2歳児検診・3歳児検診・4歳児視力検査)(発達支援：にこにこランド・フォローアップ・ペアレントトレーニング)					
	実施事業・実施年度	H27	H28	H29	H30	H31
	子育て支援事業(各種検診・教室・相談)	○	○	○	○	○
	発達支援	○	○	○	○	○

事業名	HAPPY・BABY・プロジェクト「まつかわ村からの贈りもの」					
事業概要	新生児誕生記念品を民生児童委員の訪問を通し贈呈し、子育てを地域で支え見守り、子育てで困ったことがある場合、民生児童委員をはじめ、保健センター、子育て応援課などに気軽に相談ができるよう、啓発を行う。					
	実施事業・実施年度	H27	H28	H29	H30	H31
	HAPPY・BABY・プロジェクト「まつかわ村からの贈りもの」事業として民生児童委員の訪問により記念品を贈呈		○	○	○	○

◆子どもを産み育てる環境の整備

事業名	子育て支援啓発					
事業概要	子育てに関する理解を深めてもらうため、県と連携し住民及び事業所に対してリーフレットの配布など啓発活動を行う。					
	実施事業・実施年度	H27	H28	H29	H30	H31
	県の産業労働部と連携し、関連パンフレット等による啓発を行う		○	○	○	○

◆子どもを産み育てるための経済的支援の推進

事業名	福祉医療給付金事業					
事業概要	安心して子どもを産み育てることができるように、福祉医療給付金制度の拡充により、乳幼児から18歳までの子どもたちにかかる医療費の負担軽減を継続して支援する。					
	実施事業・実施年度	H27	H28	H29	H30	H31
	乳幼児等の診療費一部負担に係る村単分給付	○	○	○	○	○
	乳幼児等の診療費一部負担に係る県補助分給付	○	○	○	○	○

事業名	不妊治療費助成事業					
事業概要	不妊に悩む夫婦は増加傾向にある。しかし、不妊治療に係る費用は高額で、経済的支援の乏しさにより希望する治療を受けられない人がいる。少子化対策の一環として助成額、助成回数の増により不妊治療を希望する夫婦の経済的負担の軽減への支援を目的とする。					
	実施事業・実施年度	H27	H28	H29	H30	H31
	不妊治療費助成	○	○	○	○	○

事業名	結婚新生活支援事業					
事業概要	全国的に晩婚化が課題となっている中、若者が結婚に踏み切れない理由の一因として経済的な負担をあげる方が多くいることに鑑み、国の結婚新生活支援事業の枠組みの中で、当村において新規に婚姻した低所得者に対し補助金を交付する。平成29年4月1日以降の事案に対して申請を受け付ける予定。					
	実施事業・実施年度	H27	H28	H29	H30	H31
	結婚新生活支援事業補助金の交付 低所得世帯（所得340万円未満）を対象に住宅購入費、賃貸住宅入居費、引越し費用の一部を補助（限度額24万円）			○	○	○

◆子どもを産み育てる意識啓発

事業名	男女共同参画推進事業					
事業概要	男女が共に仕事と育児・子育てを両立し、ワークライフバランスの実現に向け、チラシの配布や講演会等を実施し、男女共同参画意識の啓発・啓蒙を図ります。					
	実施事業・実施年度	H27	H28	H29	H30	H31
	第4次男女共同参画社会推進計画の作成とリーフレットを作成し周知を図る			○	○	
	女性が活躍する村づくりを推進するための女性企業家の集会オープンイベントの実施		○	○		
	男女共同参画社会の実現に向けた、男女共同参画セミナーの実施	○	○	○	○	○

重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H27)	目標値 (H31)
新生児訪問回数	64回	70回
妊産婦相談利用者数	266人	266人(維持)
地域の産婦人科医療機関数	1機関	1機関(維持)

※基準値はH27で把握できる直近の数値

具体的施策 III-2 子育て支援の推進

◆質の高い幼児期の保育・教育

事業名	認定こども園運営(地域の子育て支援)					
事業概要	平成28年度から、村内に2園ある保育園を認定こども園に移行。これに伴い、質の高い保育(5育)を提供。また、地域の子育ての拠点として、未就園の子育て世帯の支援、子育て相談や交流事業を実施。					
	実施事業・実施年度	H27	H28	H29	H30	H31
	一時預かり保育	○	○	○	○	○
	未就園児交流事業〔あそびの広場開設(みんなであそぼう、ぴよぴよ・とことこの実施)、園解放〕		○	○		
	子育て相談員による相談	○	○	○	○	○

事業名	認定こども園運営（質の高い教育・保育の提供）					
事業概要	平成 28 年度から、村内に 2 園ある保育園を認定こども園に移行。これに伴い、質の高い教育・保育（5 育）を提供。また、地域の子育ての拠点として、未就園の子育て世帯の相談や交流事業を実施。					
	実施事業・実施年度	H27	H28	H29	H30	H31
	柳澤運動プログラム（心と体を鍛えるプログラム）を取り入れた運動保育士による運動指導	○	○	○	○	○
	外国語及び外国人とのふれあいを目的とした英語圏の講師による外国語指導	○	○	○	○	○
	一人ひとりの力を伸ばすための小集団活動	○	○	○	○	○
	スクラムネットやこども病院等専門機関と連携した療育支援の実施	○	○	○	○	○

◆保育環境の充実と経済的支援の推進

事業名	認定こども園運営（環境の整備と経済的支援）					
事業概要	平成 28 年度から、村内に 2 園ある保育園を認定こども園に移行。こどもたちが心身ともに健全に育つよう保育環境を充実し、魅力ある園運営を行う。また、子育て世帯の負担減を実現し、安心して多くの子どもを持てるよう支援する。					
	実施事業・実施年度	H27	H28	H29	H30	H31
	保育士の処遇の改善を行い人材の確保を行う また、研修の機会を多く設け人材の育成を行う	○	○	○	○	○
	園庭の芝生化（北保育園）				○	○
	多子世帯の保育料軽減（第 2 子半額、第 3 子以降 0 円）	○	○	○	○	○

◆子育てしやすい地域づくり

事業名	認定こども園運営（子育て意識向上）					
事業概要	核家族化や地域社会の変化により、地域の子育てに対する意識が希薄化しているため、地域の高齢者（子育て経験者）や保護者同士の交流を実施する。					
	実施事業・実施年度	H27	H28	H29	H30	H31
	保育園児による高齢者福祉施設の訪問。祖父母参観の実施。民生委員による園行事への参加など	○	○	○	○	○
	保護者会による夏祭りなどイベントの開催、親子遠足や運動会など園行事への保護者の参加	○	○	○	○	○
	保護者を対象とした育児講話の開催、参加型保育園参観の実施	○	○	○	○	○

◆育児・子育てをしている女性の就業支援

事業名	子育て中の女性の就業支援					
事業概要	育児・子育てをしながら早期の就業を希望している保護者に対して、就業相談や就業後のサポートを行い、子育て中でも安心して仕事ができるよう支援を行う。					
	実施事業・実施年度	H27	H28	H29	H30	H31
	県の女性就業支援員と連携し、就業相談会を開催する		○	○	○	○

重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H27)	目標値 (H31)
待機児童数	0人	0人
認定こども園への移行	—	2園
子ども未来センター利用者数 (年間)	—	4,000人
地域の遊具設置公園数	18か所	20か所
子育て支援ルーム利用者数(年間)	2,207人	2,300人

※基準値はH27で把握できる直近の数値

具体的施策 Ⅲ－３ 教育環境の充実と支援強化

◆学ぶ力と豊かな心の育成

事業名	笑顔で登校支援事業					
事業概要	①村教育指導員、村費教員の配置を行い、不登校、不適応児童生徒等の支援を実施する。 ②ICT 機器活用による放課後学習支援活動の実施。 ③学校給食費補助。					
	実施事業・実施年度	H27	H28	H29	H30	H31
	加配教員の配置	○	○	○	○	○
	放課後学習の支援	○	○	○	○	○
	学校給食費補助（現行 10,000 円／人、増額も検討）		○	○	○	○
	子育てりんりんセンター（電話料）	○	○	○	○	○

◆教育の連携と支援体制の充実

事業名	放課後子どもの居場所づくり事業					
事業概要	保護者が労働等により昼間家庭にいない小学生に対し、ふれあい館等を利用して適切な遊びや生活の場を提供し健全な育成を図る。					
	実施事業・実施年度	H27	H28	H29	H30	H31
	児童クラブ事業	○	○	○	○	○
	ふれあい館管理	○	○	○	○	○
	子ども教室	○	○	○	○	○
	子ども未来センター運営			○	○	○

◆未来を担う子どもたちの育成支援

事業名	学校施設整備事業					
事業概要	施設の継続的な点検・維持・改善を行うとともに、教育活動の多様化に対応できる学習環境整備や充実について、計画的に推進する。					
	実施事業・実施年度	H27	H28	H29	H30	H31
施設整備		○	○	○	○	○

重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H27)	目標値 (H31)
子ども未来センター利用者数 (年間)	—	4,000人
国際交流派遣参加者数(累計)	52人	200人

※基準値はH27で把握できる直近の数値

基本目標Ⅳ 安心で安全な地域の推進と広域連携の強化

具体的施策 Ⅳ-1 心かよわせともに暮らす協働の村づくり

◆コミュニティ活動の推進

事業名	松川村コミュニティ活動推進事業					
事業概要	災害時の対応を含め、地域の連帯感を高めるため、行政区と連携し自治組合加入を促進する。					
	実施事業・実施年度	H27	H28	H29	H30	H31
	自治組合未加入世帯に対する、加入の推進（相談、ダイレクトメール）	○	○	○	○	○

◆地域づくり活動の推進

事業名	地域づくり活動活性化支援事業					
事業概要	村民自らの手によって地域の課題解決や活性化を図る活動を積極的に支援し、地域コミュニティの維持と新しい住民との連帯感を高め、協働による活力ある地域の創生を図る。					
	実施事業・実施年度	H27	H28	H29	H30	H31
	地域づくり活動活性化支援補助金の交付 利用しやすい補助金となるよう住民のニーズを把握し、必要に応じて制度の改正を図る。	○	○	○	○	○
	地域発 元気づくり支援金の積極的な活用推進 （県制度の活用推進） 住民への制度の周知と申請に関する手続き支援を実施	○	○	○	○	○

◆村民の村政参加の推進

事業名	村民の村政参加の推進					
事業概要	様々な施策に村民の意見を反映することができるように、村の重要な施策、計画などを策定する際には、パブリックコメントや公募による委員の登用をおこない、村民の意見を積極的に取り入れる。					
	実施事業・実施年度	H27	H28	H29	H30	H31
	各種計画策定等におけるパブリックコメントの実施	○	○	○	○	○
	各種委員会への公募委員の募集と登用	○	○	○	○	○
	松川村第7次総合計画の策定（平成31年度末） 村民の意見を十分反映させた内容で、村政の基本となる総合計画の策定を実施する（平成31年度まで現行）村民ニーズの把握のためのアンケートや意見交換会などを実施する				○	○
	総合戦略の検証と改訂 地域づくり推進委員会を中心に総合戦略の進捗についての検証を行い、必要に応じて改訂も実施する		○	○	○	○

事業名	松川村公聴推進事業					
事業概要	村の重要な施策計画はパブリックコメントを行う。また村の各審議会には公募委員を選任する。					
	実施事業・実施年度	H27	H28	H29	H30	H31
	パブリックコメントの実施と各審議会公募委員の継続	○	○	○	○	○

◆信頼される行政運営

事業名	松川村行政組織改革事業					
事業概要	住民ニーズに対応した行政組織の見直しを行う。また村ホームページを最大限活用した情報発信に努める。					
	実施事業・実施年度	H27	H28	H29	H30	H31
	住民ニーズに対応した行政組織の見直し	○	○	○	○	○

事業名	行政の透明化促進					
事業概要	情報発信と情報開示を積極的に行い、村民から見て分かりやすい、開かれた行政運営を推進するため、村公式ホームページや広報まつかわ、年間カレンダー等の充実を図る。ホームページについては、各担当が最新の情報を掲載できるシステムを構築し、常に最新の情報を村民に提供できる体制を整備する。					
	実施事業・実施年度	H27	H28	H29	H30	H31
	村公式ホームページの更新と充実 各担当が最新の情報を掲載できるようホームページのシステムと内容の更新を実施する	○	○	○	○	○
	広報まつかわの発行と回覧文書等の活用	○	○	○	○	○
	村年間カレンダーの発行	○	○	○	○	○
	行政防災無線の活用と内容充実	○	○	○	○	○

重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H27)	目標値 (H31)
自治組合加入率	77.0%	80.0%
地域づくり活動活性化支援補助金活用団体数（累計）	36 団体	45 団体

※基準値はH27で把握できる直近の数値

具体的施策 IV-2 健康長寿日本一への挑戦

◆生涯健康づくり

事業名	特定健診事業					
事業概要	日本人の生活習慣の変化等により、近年、糖尿病等の生活習慣病の有病者・予備軍が増加している。平成20年度より生活習慣病に着目した健康診査・保健指導事業が実施されている。健診結果から、生活習慣病の発症のリスクが高く、生活習慣の改善により予防効果が期待できる方に対し、生活習慣を見直すサポートをする。					
	実施事業・実施年度	H27	H28	H29	H30	H31
	特定健診事業（健診業務委託・保健指導）	○	○	○	○	○

事業名	介護予防事業					
事業概要	高齢者の交流の場「松香荘」を利用して、健康体操教室「いきいきフラミンゴ」と「水中運動教室」を実施する。					
	実施事業・実施年度	H27	H28	H29	H30	H31
	介護予防教室・健康体操教室・水中運動教室	○	○	○	○	○

◆地域医療の充実

事業名	地域医療体制整備促進事業					
事業概要	地域内の病院群が共同連帯して、休日・夜間等における重症救急患者の診療を受け入れる体制を整備する。					
	実施事業・実施年度	H27	H28	H29	H30	H31
	地域医療体制整備促進事業（県地域包括医療協議会大北支部・病院群輪番制運営費・平日夜間救急医療事業負担金）	○	○	○	○	○

◆福祉の村づくりの推進

事業名	認知症地域支援推進事業					
事業概要	気軽に集えるカフェ的雰囲気を中心に認知症に関する講座や懇話会「認知症くらし術講座&カフェ・えんむすび」を実施し、認知症の正しい理念の普及、地域理解の醸成、認知症予防を図る。					
	実施事業・実施年度	H27	H28	H29	H30	H31
	認知症くらし術講座、認知症サポーター養成講座	○	○	○	○	○
	認知症地域支援推進員等設置事業	○	○	○	○	○

事業名	地域活動支援センター事業					
事業概要	障がい者に日中活動の場として「地域活動支援センター・あすなろ憩いの家」を実施し、地域での孤立化を予防するとともに、障がいが理由で起きている地域での暮らしにくさを解消するリハビリプログラムを提供する。					
	実施事業・実施年度	H27	H28	H29	H30	H31
	地域活動支援センター・あすなろ憩いの家	○	○	○	○	○
	他市町村地域活動支援センター利用負担	○	○	○	○	○

重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H27)	目標値 (H31)
松香荘利用者数 (年間)	25,768 人	28,000 人
特定健診実施率	54.0%	65.0%

※基準値はH27で把握できる直近の数値

具体的施策 IV-3 安全で安心して暮らせる村の実現

◆消防・防災体制の強化・充実

事業名	松川村消防設備等更新事業					
事業概要	老朽化した消防設備を計画的に更新し、防災機能の強化を図る。					
	実施事業・実施年度	H27	H28	H29	H30	H31
分団詰所更新		○	○	○		
防災無線更新 (デジタル化)					○	○

◆交通安全対策の充実

事業名	交通安全対策事業					
事業概要	交通安全意識高揚のため、南北保育園及び小学校において交通安全教室を実施、道の駅などで街頭指導を行い交通安全の啓発と意識改善に取り組みます。					
	実施事業・実施年度	H27	H28	H29	H30	H31
春・夏・秋・年末の各交通安全運動期間中における街頭指導所の開所及び各地区公民館等への交通安全啓発看板設置と南北保育園及び小学校において交通安全教室の実施		○	○	○	○	○
チャイルドシート購入補助		○	○	○	○	○
交通災害共済への全村民加入		○	○	○	○	○

◆防犯対策の充実

事業名	防犯対策事業					
事業概要	安全で明るく住みよい村づくりのため、警察、地元役員、関係機関と連携を図り村民の防犯意識高揚と防犯対策に取り組みます。また、防犯灯についてはLED化を進め維持費節減に取り組みます。					
	実施事業・実施年度	H27	H28	H29	H30	H31
	村内防犯灯のLED化推進	○	○	○	○	○
	暴力追放、交通安全村民大会の実施	○	○	○	○	○

重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H27)	目標値 (H31)
消防団員数	200人	200人(維持)
デジタル防災無線普及率	0%	100%
交通死亡事故件数(年間)	0件	0件
防犯灯LED化普及率	29.0%	100%

※基準値はH27で把握できる直近の数値

具体的施策 IV-4 広域連携強化による地方創生

◆地域特性を活用した広域推進

事業名	消費生活相談の広域連携事業					
事業概要	生活圏の広域化がすすむ中において、住民や地域、村が抱える多くの課題に対応するため、広域的に共通する課題や効率化が図られる施策に対して他の自治体や県、関係機関との連携を構築し、質の高いサービス提供や地域づくりに取り組みます。					
	実施事業・実施年度	H27	H28	H29	H30	H31
	大北圏域による消費生活相談業務		○	○	○	○

◆新たな広域連携による地域力の向上と経済・生活圏の形成

事業名	北アルプス連携自立圏推進事業					
事業概要	地方創生を実現するために、個々の市町村の取り組みに加え、大北地域全体で地域力を向上させ、活力ある経済・生活圏を構築するという広域的な視点に立って課題を解決するため、大北圏域は国が推進する定住自立圏や連携中枢都市圏などの要件に該当しない制度空白地であることから、従来からの北アルプス広域連合の枠組みに加え、大北圏域独自の新たな広域連携スキームを構築し、個々の資源を活かしながら連携して取り組む体制を整備します。					
	実施事業・実施年度	H27	H28	H29	H30	H31
	北アルプス連携自立圏の確立 大町市を中核とした大北5市町村での連携自立圏を確立し、圏域全体の地域活性化及び生活機能の確保・充実を図る		○	○	○	○
	成年後見センターの開設と運営		○	○	○	○
	広域連携による事業の検討（専門部会の実施）	○	○	○	○	○

重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H27)	目標値 (H31)
新たな広域連携で取り組む事業分野	—	8分野

※基準値はH27で把握できる直近の数値